

3類型	農林水産物	通巻番号	3-22-155
地域資源名	千葉の落花生、八街産落花生、千葉のいちご、千葉のさつまいも、千葉のトマト	認定日	平成23年2月8日
地域	千葉県旭市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：独自加圧浸透技術・ドライ技術を活用した地元産食材新ドライフーズの開発及び販売事業

会社名：株式会社小林商事

所在地：千葉県旭市中谷里994-1

連絡先：TEL：0479-63-8151
FAX：0479-63-0719

HP：<http://www.ko-ba.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

当社独自の加圧浸透味付け法と天日干し乾燥法による地元産落花生を原料とする新ドライフーズの開発及び自社ブランド品としての販売を展開する。当社の独自製法は、落花生のほか、果実農産物の加工についても応用が利くことから、いちご、さつまいも、トマトを使ったシリーズ品の開発及び自社ブランド品販売についても本計画で段階的に実施する。

本事業により、原料となる農産物について、大量仕入と消費拡大、千葉産農産物の知名度向上をとおして、千葉県農業の振興と活性化に寄与する。



【メープル味ピーナッツの試作品】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

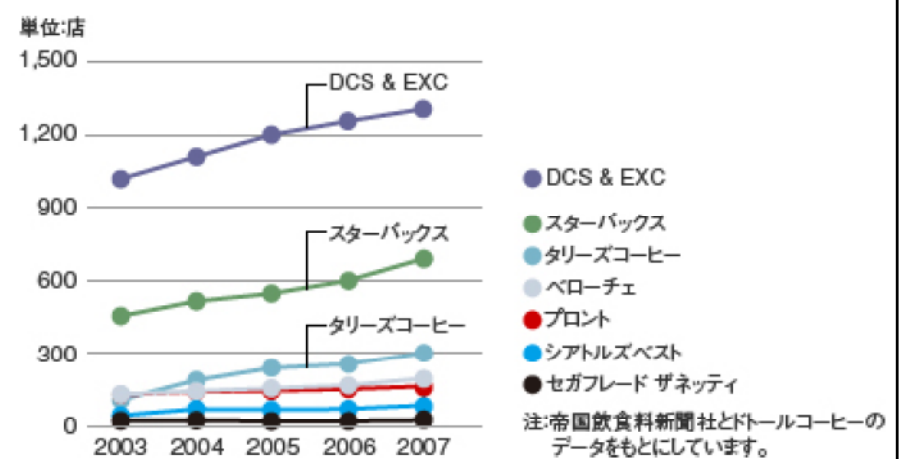
素材の外から調味料を塗布する従来の味付け法では実現できない素材の中にまで浸みこんだ味わいと、天日干しに近いしっとりした食感をもつ当社新商品は、他社商品とは一線を画するもの。

◆市場性

OL、女子学生(大学・専門学校)、20歳代～30歳代の主婦など、若年層女性を対象に本事業を展開する。メープル味ピーナッツの簡単な試作品を大手コーヒーショップ運営会社の5店舗でテスト販売したところ、2か月で500食を販売する実績をあげるほどのニーズの高さを示している。

◆販路

当社が提供する新ドライフーズのターゲットである若年層女性との接点である大手コーヒーショップ企業の各店舗、近隣都県のエキナカショッピングモールのテナント、大手・中堅小売業者を販路として活用する。とくに、コーヒーショップ運営企業が展開する店舗数は増加傾向にあり、今後もセルフスタイルコーヒーショップ市場は拡大が予想されているところであり、そのお茶請けとしての当社新ドライフーズの購買も拡大が大いに見込まれる。



【大手コーヒーショップ運営店舗数の推移】

地域資源における関係事業者との連携

本事業の実施にあたっては、原料供給元となる地元農家との連携が不可欠。100軒を超える農家と原料供給契約を締結して、地域農業の活性化に寄与する。また、さつまいも品、トマト品に係る味付け塩にもこだわりをもち、かつて九十九里で採られていた製塩法を地元製塩業者が現代に復元して製造している塩を使用することでも、地元産業の活性化に寄与する。